

青少年期の移行の危機と家庭生活 — JELS2006, 2003のデータから —

日時: 2008年10月16日(木) 16:30~18:30

場所: 大学本館(生活科学部)103会議室

参加費:無料 申し込み:不要(直接会場へお越しください)

お茶の水女子大学JELS(Japan Education Longitudinal Study)では、学齢期から成人期までを対象とした日本で初めての本格的な追跡研究を進めています。つきましては、関東と東北地方2エリアの小・中・高校生および保護者の方を対象に実施した2回の調査データを元に公開セミナーを開催いたします。多くの方のご来場をお待ちしています。

プログラム:

16:30~16:40

挨拶

G-COE 拠点リーダー お茶の水女子大学教授 耳塚 寛明

16:40~18:30

コーディネーター

お茶の水女子大学名誉教授 牧野 カツコ

報告

- | | | | |
|---|------------------------|--------------|--------|
| 1 | 子どもの生活習慣と親の就労状況 | 東京理科大学助教 | 坂本 有芳 |
| 2 | 子どもの家事参加が対人関係能力に与える影響 | 京都女子大学教授 | 表 真美 |
| 3 | 子どもの自尊心に与える家庭と学校の影響 | JELS研究協力者 | 岩崎 香織 |
| 4 | 家庭生活の雰囲気認知は3年後にどう変わるか | JELS研究協力者 | 蟹江 教子 |
| 5 | 子どものケア行動に家庭の要因はどう影響するか | お茶の水女子大学名誉教授 | 牧野 カツコ |

討論者

お茶の水女子大学名誉教授 袖井 孝子
お茶の水女子大学准教授 小玉 亮子

主催: お茶の水女子大学グローバルCOEプログラム 教育・社会的格差領域

連絡先: お茶の水女子大学JELS T/F:03-5978-5935 E-mail:jelsocha@cc.ocha.ac.jp